

裁判員等経験者の意見交換会開催概要



令和6年3月26日(火)、3名の裁判員等経験者に御参加いただき、法曹三者との意見交換会を実施しました。裁判員等経験者の皆様の御意見や御感想の一部を、紹介します。



1 裁判員に選任されるまでに感じたこと等

- 裁判はニュースやドラマで見たイメージしかなく、自分とは関係のない世界だと思っていたので、裁判所から選任通知が届いて驚いた。知らない世界への興味と、裁判員になったときの精神的負担への不安を、半々で感じていた。
- 刑事裁判には怖いイメージしかなかった。裁判員裁判は重い事件を扱うことになることは知っていたので、精神的負担に対して不安な気持ちが大きかったが、経験のない分野について知りたいという気持ちもあった。選任手続の日が近づくにつれて不安な気持ちになったが、選任手続当日に事件の内容を聞いて、気が楽になった。
- 刑事裁判は身近に感じたことはなかったし、実際に裁判員になる確率は低いので自分になるとは思っていなかった。自分の会社は裁判員裁判に参加するための特別休暇があったので参加できたが、会社によっては参加が難しい人もいるだろうなどと思った。



2 裁判に参加してみte感じたこと等

- 裁判の文書は文字が多くて見たことがない言葉があり、最初はよく分からなかったが、裁判官に聞く等して徐々に理解できたので、審理の内容が分からなくなるようなことはなかった。
- 自分が普段見ない文章で頭に入ってきづらかったが、検察官、弁護人の資料や、裁判官のかみ砕いた説明で、理解することができた。
- 書類の文章が独特で理解しづらかったが、検察官の資料と裁判官の説明が分かりやすかったので、審理の内容を理解できた。



3 裁判員としての経験を終えての感想

- 裁判の日程が進む中、怖いという気持ちより、被告人の人生に関わることなので真剣に考えようという気持ちの方が、強くなった。
- 裁判所は堅いイメージで緊張していたが、裁判官が気さくに接してくれて、裁判についても分かりやすく説明してくれたので緊張がほぐれた。
- 被告人や被告人の家族の話聞いて、自分は罪を犯さないようにしようと思った。また、1つ1つのニュースをじっくり見るようになった。



4 裁判員になれる方へのメッセージ

- 分からないことだらけで不安に思うかもしれないが、それを踏まえた対応をしてくれるので、安心して気楽に参加して欲しい。
- 自分は経験して良かったと思っているので、積極的に参加して欲しい。
- やって良かったと思っているので、恐れず参加して欲しい。



今回は、意見交換会の様子を高校生以上の方16人に傍聴していただきました。意見交換会終了後の傍聴者との質疑応答の時間では、「裁判員にまたなりたいと思いますか」等の質問が傍聴者から裁判員等経験者にされていました。



意見交換会の傍聴は、当庁では初めての試みでした。御参加いただき、ありがとうございました。

意見交換会に御参加いただき、誠にありがとうございました。皆様からいただいた貴重な御意見、御感想を、今後の裁判員裁判の運営に活かしていきたいと思っております。

